

重点目標一覧表

担当部局名	政策企画部
-------	-------

	【平成27年度重点目標】	【平成28年度重点目標】
1	重点目標 地方創生に向けた施策の総合的な推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 第二次上田市総合計画の策定 まち・ひと・しごと創生上田市版総合戦略と人口ビジョンの策定 ・市民、産官学金労等の意見調整のもと市推進本部・部会により策定推進 上田地域定住自立圏共生ビジョンの進捗管理、検証、見直し 長野市、松本市、上田市とのトライアングル連携事業の推進 上田市のより良い教育環境づくりを目指す総合教育会議推進と大綱作成 長野大学の公立大学法人化要望に対する対応 ・長野大学公立大学法人化検討委員会の開催と報告書のとりまとめ 高等教育機関の誘致	重点目標 第二次総合計画に基づく将来都市像の実現に向けた取組推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 上田市版総合戦略の推進による地方創生の取組 上田市総合教育会議を活用した教育環境づくりの推進 次期定住自立圏共生ビジョンの策定と地域間連携強化 合併特例債の終了を見据えた実施計画等の策定 ふるさと寄付・企業版ふるさと納税の活用 結婚支援、少子化対策の充実
	達成状況・達成度 総合計画審議会を経て9月議会で議決 10月に上田市版総合戦略、人口ビジョンを策定 外部有識者会議による民間意見の反映 進捗管理した共生ビジョンを検証、見直した 上田市と松本市、上田市と長野市で各1事業連携 総合教育会議を設置し教育大綱を策定 6月に検討委員会の結果を市長に報告 3月議会で公立大学法人評価委員会条例を可決 新潟薬科大学と市内に薬学部設置について協議	期限・数値目標等 検証、見直しのPDCAサイクルの確立 地域再生計画の認定、推進交付金の活用 計画的な協議 3回 12月までに次期共生ビジョン策定 長野・松本トライアングル連携の推進 実施計画査定時に方針決定 個人向けふるさと寄付額 前年度比倍増 企業版ふるさと納税 対象地方創生事業の決定 結婚支援団体が取扱う成婚組数：年間6組
2	重点目標 大河ドラマ「真田丸」によるシティプロモーションの実践 具体的な重点取組項目（箇条書き） 全体体制による（仮称）上田市シティプロモーション計画策定の検討 NHK大河ドラマ放送に向けたおもてなし関連事業の実践 ・前年に検討した誘客宣伝、おもてなしなど推進協議会事業の実施 ラグビーワールドカップキャンプ地誘致の取組 ・キャンプ地を誘致する会と連携した誘致活動の実施 移住・定住促進のための効果的な情報発信 ・空き家バンクの活用 ・空き家バンクを活用した移住者獲得	重点目標 公立大学法人化と学園都市づくりの推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 長野大学の公立大学法人化の推進 まちなかキャンパス(市内4大学等による)の設置 新潟薬科大学の上田キャンパスの受入
	達成状況・達成度 策定に向け室内協議を継続 ・1/17大河ドラマ館オープン ・入館者1/29 1万人 3月末117,724人 ・4/25啓発イベント開催 ・8/11～15(イグランド St. pauli's校)へPR活動 ・10/10～15(RWC2015大会)視察へ職員派遣 ・登録物件38件 利用者登録62件 ・移住世帯9世帯	期限・数値目標等 平成29年4月に公立大学法人化 7月までに中心市街地に設置 新潟薬科大学等関係機関との協議
3	重点目標 サントミュージゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 文化創造都市と「育成」事業の推進 市民と共に歩む施設を目指した「市民協働」事業の推進 魅力ある「鑑賞」事業の推進 広報宣伝活動の推進 事業経費の確保	重点目標 合併10周年記念事業の実施 具体的な重点取組項目（箇条書き） 記念式典の実施 特別事業、市民公募事業、冠事業の実施
	達成状況・達成度 市内全小学校25校、9地域の公民館でコンサートを実施。子どもアトリエを中心に講座、ワークショップを85回実施 事業や施設の美化活動等に延146人のサポーターの参加があった。 オケストラ公演、演劇、ダンスなど50回の自主公演と美術館で9回の展覧会を実施 機関誌を創刊、専用ホームページで適時の情報提供を行った。 補助金、助成金により6事業、地域メディアとの連携でリサイクル12事業、美術館で4回の特別展示を実施。	期限・数値目標等 実施日：H28.6.25（土） 記念式典を実施し、市民とともに合併10周年を祝います。 実施期間：H28.1.1～H29.3.31 市民団体や関係課との連携を図りながら、官民協働による各種記念事業を実施します。
4	重点目標 地域公共交通の確保・維持と「乗って残す」を基本とした公共交通活性化の推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 運賃低減バスの実証運行と積極的な利用促進 まちなか循環バスの導入 別所線の平成28年度以降の公的支援のあり方の検討 別所線の安全対策の推進 別所線電車存続に向けた利用促進 公共交通網形成計画素案の策定	重点目標 大河ドラマ「真田丸」によるシティプロモーションの実践 具体的な重点取組項目（箇条書き） 大河ドラマ「真田丸」を契機とする継続したプロモーション活動の推進 ・真田ゆかりの地と連携したPR活動の実施 ・ドラマの進行に合わせた効果的なPR活動の推進 ラグビーワールドカップキャンプ地誘致の取組 移住・定住促進のための効果的な情報発信 ・(仮)上田市シティプロモーション基本計画の策定 ・空き家バンクの充実 ・移住相談会(体験ツアー等)の開催
	達成状況・達成度 輸送人員・実証前の22.9%増(仮:第3四半期) 平成27年10月1日より運行中 平成28年3月23日に別所線運行協定を締結 運行協定に基づき安全対策事業を計画的に実施 輸送人員1,299千人、前年度比5.9%増 平成28年3月15日に完了、国土交通省へ提出	期限・数値目標等 大河ドラマ館入館者数 50万人 ・啓発イベント開催(9月まで) ・ラグビー強豪国関係者招聘(年度内) ・計画策定(年度内) ・登録物件 53件 利用者登録 92件 ・体験ツアー参加者 5組
5	重点目標 合併10周年記念事業の推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 記念事業の企画・立案 ・実施期間の設定、記念式典開催日の決定、準備期間を含むスケジュールの策定 ・庁内推進体制の整備、市民との連携 ・ハード事業、ソフト事業の検討(冠事業他) 記念事業の実施 ・平成28年3月6日(合併10周年記念日)の取組	重点目標 サントミュージゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 文化創造都市と「育成」事業の推進 市民と共に歩む施設を目指した「市民協働」事業の推進 魅力ある「鑑賞」事業の推進 広報宣伝活動の推進 事業経費の確保
	達成状況・達成度 記念事業期間：H28.1.1～H29.3.31 記念式典：H28.6.25（土）サントミュージゼ大ホール 特別事業：H27年度10事業、H28年度31事業 認定 市民公募事業：H27年度1事業、平成28年度3件認定 冠事業：H29.1.31まで随時募集中 3月6日前後に信濃毎日新聞等への広告、本庁舎等への懸垂幕の掲示等を実施	期限・数値目標等 市内全小学校25校、9地域でのワークショップ、コンサートの開催 「子どもアトリエ」講座等80回開催 サポーター活動の充実とアーツスタッフアカデミーの実施 市民要望を参考とした15回の自主事業公演と8回の展覧会を実施 広報、機関誌、マスメディア等を積極的に活用 補助金、助成金の獲得と地元メディアとの共催事業を誘致
6	重点目標 地方創生に向けた施策の総合的な推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 第二次上田市総合計画の策定 まち・ひと・しごと創生上田市版総合戦略と人口ビジョンの策定 ・市民、産官学金労等の意見調整のもと市推進本部・部会により策定推進 上田地域定住自立圏共生ビジョンの進捗管理、検証、見直し 長野市、松本市、上田市とのトライアングル連携事業の推進 上田市のより良い教育環境づくりを目指す総合教育会議推進と大綱作成 長野大学の公立大学法人化要望に対する対応 ・長野大学公立大学法人化検討委員会の開催と報告書のとりまとめ 高等教育機関の誘致	重点目標 「乗って残す」「乗って活かす」を基本とした公共交通活性化の推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 運賃低減バスの実証運行と積極的な利用促進、10月以降の運行方針決定 別所線の安全対策の推進、別所線電車存続に向けた利用促進 公共交通網形成計画の策定 運転免許証自主返納支援制度導入
	達成状況・達成度 総合計画審議会を経て9月議会で議決 10月に上田市版総合戦略、人口ビジョンを策定 外部有識者会議による民間意見の反映 進捗管理した共生ビジョンを検証、見直した 上田市と松本市、上田市と長野市で各1事業連携 総合教育会議を設置し教育大綱を策定 6月に検討委員会の結果を市長に報告 3月議会で公立大学法人評価委員会条例を可決 新潟薬科大学と市内に薬学部設置について協議	期限・数値目標等 輸送人員：実証運行前の25%増、10月以降の運行方針決定 安全運行のための設備投資・修繕の計画的推進、輸送人員120万人の確保 公共交通網形成計画の策定 支援制度の導入

評価基準 [] : 目標を上回る達成 [] : 目標どおり達成 [] : 目標未達成の部分あり [×] : 全て目標未達成

市長指示事項 ・サントミュージゼを利用したアーティスト・著名人の声、サインコレクションの展示等工夫すること。・地方創生に向けた施策は、上田市独自のものを作り上げ、積極的に課題に対応すること。・シティプロモーション事業の実践は、効果的に取り組むこと。・移住者の把握について庁内関係機関と連携し取り組むこと。・文化創造都市実現に向けた育成事業については、子ども向けに力を入れること。・バスの輸送人員は50%増の実現を目指すこと。・合併10周年事業は、範囲、事業内容を研究し実施すること。	市長指示事項 ・総合計画、地方創生事業については、関係部局と連携し成果を上げること。・総合教育会議においては、市長部局で取組可能な部分は精一杯取り組むこと。・地域間連携は、引き続きと組み方や仕掛け方等研究し取り組むこと。・ふるさと納税は、成果が上がるよう個人・企業それぞれについてしっかりと検討し実施すること。・長野大学公立法人化、新潟薬科大受入とともに、まちなかキャンパスについて、市内大学・短大との連携を図り成功させること。・合併10周年事業については、単にお祭りではなく、今後10年を見通すための住民との心合わせであることを念頭に実施すること。・シティプロモーション関係は、ポスト真田丸、ビックスポーツ大会を視野に入れながら戦略的に成果を上げること。・サントミュージゼについては、子どもアトリエ、出前事業について評価を見える化する。・公共交通については、効率化を踏まえ次のステージをにらみ取り組むこと。
---	--